

目指す学校像 「すべての子供の活躍の舞台 日野第八学校！」



学校だより 2月号

日野市立日野第八小学校
校長 船山 徹

令和7年1月31日発行

電話 042-591-2411 ファクシミリ 042-591-2412

<https://www.hino-tky.ed.jp/e-hino8/>

子供の主体性を育むために

副校長 西山 貴広

先週の学校公開には、たくさんの保護者の皆様にお越しいただき、ありがとうございました。子供たちが、自分の考えを積極的に発表したり、友達と教え合いながら学習を進めたりするなど、主体的に学ぶ姿をご覧いただけていたら、大変うれしく思います。子供たちが将来、自分の力で生きていけるように、主体性を育てたいという思いは、保護者の皆様も私たち教職員も同じだと思います。では、主体性を育てていくために、子供との接し方・関わり方で、大人はどんなことに気を付けていけばよいのでしょうか。人それぞれに考えはあると思いますが、私は次の3つのことが大事だと思っています。その3つとは、「子供に任せること」「子供に自己選択・自己決定させること」「子供に目標や見通しをもたせること」です。

まず1つ目の「子供に任せること」についてです。子供に任せるのは、簡単なようですごく難しいことだと思います。うまくいきそうならよいのですが、大人は先が読めてしまうので、今のままだと失敗して子供が傷ついてしまうと思うと、心配になって、結果も出ないうちからつい口を出したり、手助けしたりしてしまいます。しかし、大人の言う通りにさせたり、もしくは大人が代わりにやってあげたりしたら、子供に力が付くのでしょうか。自分の力でやり遂げて、うまくいったら大きな自信になるし、たとえうまくいかなかったとしても、「次はこうしてみよう」と、自分なりに考えながら取り組んで、少しずつできるようになっていくのだと思います。とにかく子供に任せてみて、大人は我慢して「待つ」「見守る」姿勢が大事ではないかと思っています。

2つ目の「子供に自己選択・自己決定させること」についてです。子供が期待通りの動きを見せない場合、大人はつい「ああしなさい」「こうしなさい」と、指示を出してしまいがちです。また、子供が困っている場合、まだ望んでいないにもかかわらず「こうしてみたら」と、先に解決の仕方を示してしまうこともあります。例えば、子供がケンカをしてしまった時、その友達と仲直りするためには、まずは「どうしたらいいと思う？」「どんなことならできそう？」と問いかけて、子供が自ら判断して、自分の力で答えが導き出せるようにしたいものです。ただ、子供がどうしたらよいか分からない時もありますので、その場合は、選択肢を与えたり、「自分ならこうするよ」と方向性を示したりしてあげられるとよいと思います。こうした問いかけで、子供に自己選択・自己決定させていくには時間がかかりますが、自分で決めたことだけに、自分の責任で納得しながら行動に移せると思います。人から言われて仕方なくやったことは、うまくいかなかった時、人のせいにしてしまいます。無理やりやらせても、子供のためにはならないと思います。

3つ目の「子供に目標や見通しをもたせること」についてです。子供に限らず人は「できるようになりたい」「分かるようになりたい」と、成長の欲求があります。人がよりよく成長するためには、やはり「こうになりたい」というはっきりとした目標があること、そして、その目標に近づくために、「何をしていけばよいのか」「何ならできそうか」と、具体的な計画があることだと思います。時間がある時に、子供と「どうになりたい」「そのためにどんなことができそう」「どんな計画でやっていこうか」と、話し合ってみてはいかがでしょうか。勉強のこと、習い事のこと、将来のこと、どれでもよいかと思っています。目標や見通しをもつことで、子供は自分のやることに価値や意味を見出して、前向きな気持ちで取り組めるようになると思います。

子供は、大人が思う以上に、自分で考え、判断し、行動する力が備わっています。ちゃんとできるか心配して、子供の行動に指示を出したり、手助けしたくなったりしますが、子供を信頼し、子供の考えや判断を大切にして、見守っていくことも必要なのではないかと思っています。学校でも、子供の主体性を育むような接し方や関わり方を大切にしていきたいと思っています。

【2月の行事予定】

日	曜	行 事 予 定	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	土							
2	日							
3	月	挨拶週間始 委員会活動	5	5	5	5	6	6
4	火	藤井S C	5	5	6	6	6	6
5	水	子供を笑顔にするプロジェクト	5	5	5	5	5	5
6	木		5	5	6	6	6	6
7	金	挨拶週間終 八小まつり 佐藤S C	4	5	5	6	6	6
8	土							
9	日							
10	月	クラブ活動(3年クラブ見学) ステップ教室参観月始	5	5	6	6	6	6
11	火	建国記念の日						
12	水	安全指導 4時間授業	4	4	4	4	4	4
13	木	なかよしタイム週間始	5	5	6	6	6	6
14	金	読み聞かせ(1、2年)	4	5	5	6	6	6
15	土	漢字検定						
16	日							
17	月	クラブ活動(最終) ステップ三者面談始	5	5	5	6	6	6
18	火	せせらぎ農園(たちばな) 藤井S C	5	5	6	6	6	6
19	水	なかよしタイム週間終	5	5	5	5	5	5
20	木	成果と感謝を伝える会(3年)	5	5	6	6	6	6
21	金	読み聞かせ(3、4年) 着物と礼法講座(5年) 小中交流会(6年) なかよし交流会(たちばな) 佐藤S C	4	5	5	6	6	6
22	土							
23	日	天皇誕生日						
24	月	振替休日						
25	火	藤井S C	5	5	6	6	6	6
26	水	なかよしプレイタイム	5	5	5	5	5	5
27	木	音楽集会	5	5	6	6	6	6
28	金	読み聞かせ(5年、たちばな) ステップ6年指導終 6年生を送る会会場準備(5年)	4	5	5	6	6	6

※2月の避難訓練は、児童への予告なしで実施します。

年間目標	進んであいさつをしよう
2月	生活目標 進んで仕事をしよう
	保健目標 心の健康について考えよう
	給食目標 しっかり食べて元気な体と心をつくろう

なかよしタイム週間について

なかよし班の6年生に向けて、1～5年生が1年間の感謝の気持ちを手紙に書きます。書いた手紙は学級ごとに模造紙に貼って、各学年の代表児童が6年生に届けに行く予定です。

学校評価の結果

本校では1学期末と2学期末に、本校の教育活動について学校評価を行い、教育活動の充実に役立てております。1学期末は児童と教職員による評価を、2学期末はそれに加えて保護者の皆様の評価をいただきました。ご協力ありがとうございました。12月に実施しました児童アンケートと保護者アンケートの結果とその分析についてご報告いたします。

2学期 児童へのアンケート 結果			2学期 保護者へのアンケート 結果			
	学校アンケートの設問	1学期前定の評価	2学期前定の評価		2学期前定の評価	
①	授業では、めあてや学習の仕方を、自分でえらんだり考えたりしていますか。	87.9%	86.0%	1	お子さんは、学習の目標を立てたり、ICT機器等を活用したりしながら、自分に合った方法を選んで学習に取り組んでいる。	57.4%
②	授業では、すすんで友達と話し合ったり、自分の考えを伝えたりしていますか。	86.1%	86.7%	2	お子さんは、自分の考えを伝えたり、友達と意見を交流したりする中で、互いに学び合っている。	84.5%
③	学びゆう会で話し合ったり、当ばんや係の仕事をしたうえで、自分たちの学びゆうや学年をよりよくしてあげていますか。	92.0%	89.1%	3	お子さんは、授業の中で課題を解決し、「できた・わかった・高まった」を実感している。	79.8%
④	なかよし4年生はクラブなどで、自分の役わりをはたし、「今よりもっと楽しい学校をつくらう」と工夫していますか。	89.6%	87.9%	4	本校では、子供が自分たちで話し合い、係活動や学級活動、実行委員会などの活動に取り組んでいる。	89.3%
⑤	総合的な学習の時間で、地域から課題を見つけたりえらんだりして、解決に向けて取り組むことができましたか。	88.2%	90.4%	5	本校では、子供たちがなかよし班活動やクラブ活動などの具学年での交流活動を活発に行っている。	89.5%
⑥	たちはな学びゆう・クラス・学年・たてわりはんなどの交りゆう活動の中で、おたがいのよいところを見つけたり、なかよく協力したりして生活できましたか。	91.0%	86.7%	6	本校では、子供と教員の共通目標「今よりもっと楽しい学校をつくる」の実現を目指し、行事や委員会活動の活性化、SDGsをテーマとした活動など、全般的な取り組みをしている。	82.4%
				7	本校は、多様な体験活動や地域の人々とのつながりを生かした教育活動が行われている。	89.7%
				8	本校では、保護者と連携しながら、子供たちへの学校生活上の困りごとに対する支援が行われている。	76.1%
				9	本校は、たちはな学級と各学年学級の様々な交流や共同学習が行われている。	79.0%

※「分からない」の回答を入れずに割合を出しています。
 ※85%以上を水色、60%以下をピンクで示しています。
 ※昨年度とは設問内容が異なります。

【児童アンケートについての考察】

6項目すべてにおいて85～90%の肯定的回答を得ている。このことから、児童も本校の教育活動の意義を理解し、実践していることが分かる。引き続き、児童が自ら課題を見つけて活動する場面を設定していく。しかしながら、4つの項目においては、肯定的回答が1学期より1～2%程度減っている。特に「⑥交流活動の中で仲良く生活する」項目は4.3%割合が下がっている。今後はさらに積極的に交流活動を設定し、その活動の良さを価値付けていく必要があると思われる。

【保護者アンケートについての考察】

設問の内容が異なる場合もあるため一概に比較はできないが、昨年度よりも肯定的回答の割合は、かなり上がっている。今後も保護者の皆様に本校の教育活動について関心・理解をもってもらえるように様々な形で発信を続けていきたい。特に、④⑤⑦については、本校の校内研究等を柱とした活動に、保護者の皆様にも関心をもってもらいたいことがうかがえる。一方、①については、肯定的回答の割合が低い。今年度の教育活動で大切にしてきた「児童が自らつくる学習」を継続し、児童の学力に結び付けていく必要がある。また、アンケートに回答していただいたご家庭が57%にとどまった。今後も学校の様子を発信し、関心をもってもらい、地域・保護者の皆様と共に、児童を育成していく。

以上の分析を基に、課題を整理し、改善点を検討しながら来年度の教育課程、教育計画を作成してまいります。たくさんのご意見、本当にありがとうございました。

「なかよしプレイタイム」の公開について

日時：令和7年2月26日（水） 13時05分から13時20分まで

異学年のなかよし班で月に1回取り組む「なかよしプレイタイム」を、保護者の皆様に公開いたします。この活動は、昨年度に引き続き「日野市特色ある学校づくり支援事業」として実施しており、「八小お助けしよう隊」の皆様にもご協力をいただいております。当日は、短い時間とはなりますが、子供たちの活動の様子をぜひご覧ください。



冬期の体育授業の服装について

寒さ対策として、2月から体育着のハーフパンツの上に長ズボンを着用してもよいこととします。伸び縮みして、汗を吸う素材のものをお願いします。授業の途中で体が温まってきたら脱ぎます。体育の授業に適した物をご用意ください。体育着の袋（手提げ袋可）と一緒に入れて週末に持ち帰りますので、洗濯をお願いします。

令和6年度 第3回学校運営連絡協議会

1月25日（土）の学校公開の日程に合わせ、本年度3回目の学校運営連絡協議会を実施しました。学校評議員の皆様には保護者、児童、教職員の学校評価結果及び学校経営重点計画の達成状況を確認していただきました。その後、2校時の授業を参観していただき、協議会の中で次年度の学校経営に向けての貴重なご意見をいただきました。10名の学校評議員の皆様には、これまでも学校行事を含め、度々学校にお越しいただき、様々な場面で本校の教育活動を支えていただけてきました。学校評議員の皆様、1年間ありがとうございました。以下、協議会の中で出されたご意見の一部を紹介させていただきます。



- 今年度の学校経営重点計画に記載されている目標が、保護者や地域の方々の協力と教職員の努力によって、概ね達成できていると感じた。
- 地域の様々な方が学校の教育活動に関わることで、子供たちの学ぶ意欲の向上につながっている。生活科・総合的な学習の時間の活動が、学校内に留まらず、地域をフィールドとして行われていることの成果だと考える。
- 学級会における話し合い活動を充実させ、話し合っただけで決めたことを実践し、振り返る活動を実施していると回答している教員の割合が、1学期と比べて高くなっている。「子供たちがつくる学校」を実現するために、より一層の充実を図っていく必要がある。
- 教員間で連携を取り、保護者と連絡を取り合いながら、子供の課題の解決や、子供の個別の状況に応じた支援を行っていると感じる。今後も関係機関と連携しながら、子供の困りごとに対して組織的に対応していただきたい。
- 「個別最適な学び」の実施に関する肯定的な回答が低く、「協働的な学び」の実施に関する肯定的な回答が高いことが、保護者と教員のアンケートの結果と共通している。協働的な学びの充実に関する取組を継続すると同時に、個別最適な学びの質を、より一層高めていくことが課題である。

たちばな学級 タイルアート制作について

1月25日（土）の学校公開で、今年度で閉級するたちばな学級が「タイルアート制作」を行いました。たちばな学級児童の他に、保護者やたちばな学級の卒業生、これまでたちばな学級に携わってくださった地域の方や異動された先生方など、大勢が一同に会しました。

制作にご協力いただいた岩田建設の方のご指導の下、タイルに接着剤を塗り、1枚1枚貼っていきました。段々とタイルが増えていく様子を見ながら、児童や集まってくださった方々の会話も弾み、同窓会のようなとても温かな空間と共に作品も出来上がっていきました。

たちばな学級の児童は、完成したタイルアートに「あたらしい なかまたち」という名前をつけました。この名前には、いろいろな出会いから多くの経験を得てきたたちばな学級の児童が「新しい出会いを大切にしたい！」という思いが込められています。「これから八小で過ごす仲間や八小を旅立つ仲間にとって、素晴らしい出会いが待っているように」と願いを込めて、八小の新たなシンボルとして愛されて続けてほしいと思います。

タイルアートは、正門に飾られますので、ご来校の際はぜひご覧ください。

